

かんたん設置マニュアル

家族コール 3B・メロディチャイム

HK-3B

■起き上がりをお知らせ！

■工事不要で簡単設置！

※本書面は取扱説明書の補助資料です。
ご使用前は必ず取扱説明書をご覧下さい。

■標準構成



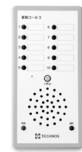
ベッドセンサー K



コンソール



AC アダプタ

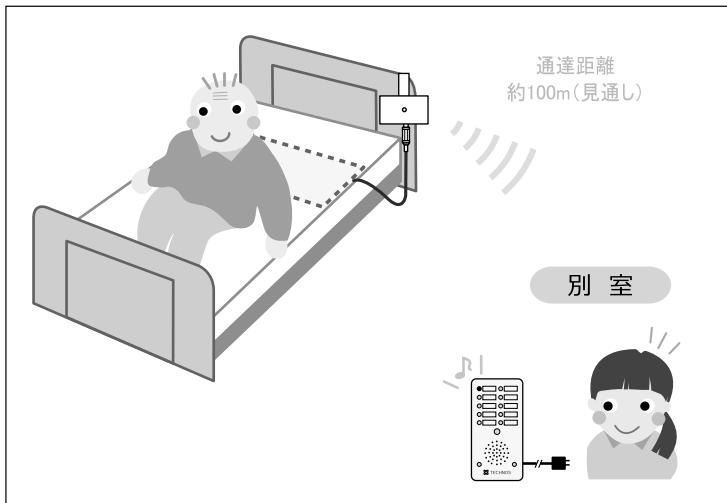


メロディチャイム



AC アダプタ

■設置・接続と運用のポイント



メロディチャイムの設置

ACアダプタをコンセントに差込み、電源を入れてください。

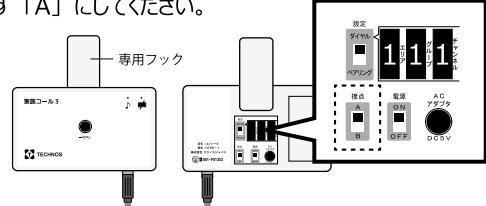
◆音量 大・中・小より選択 ◆報知時間 10秒・30秒・連続より選択

コンソールの設置と接続

①センサーをコンソールのジャックに差し込んでください。

②フックで取り付け、電源を入れてください。

*接点スイッチは必ず「A」にしてください。



■ベッドセンサー K の設置

マットレスの上、シーツの下に設置し固定してください。

○ ベッドに対し横向き



○ 肩から背中に設置



✗ ギヤッчиアップの際に折れ曲がってしまう



✗ ベッドに対し縦向き



✗ お尻にかかっている



✗ 枕の下



「ダイヤル設定」と「ペアリング設定」について

ダイヤル設定

報知するための設定方法は 2 種類！

ペアリング設定

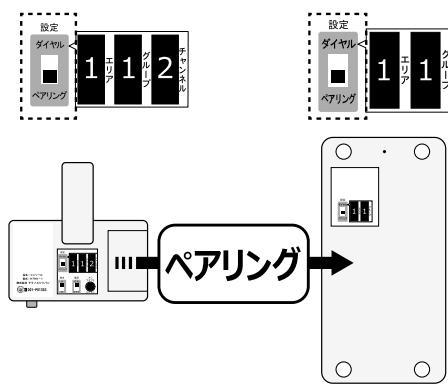
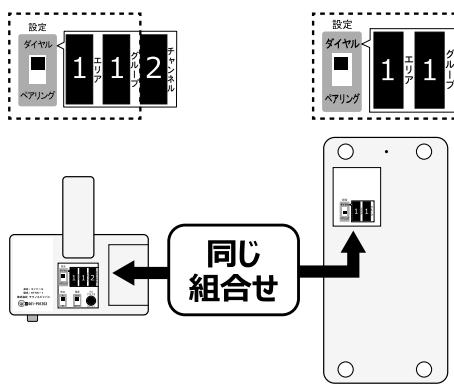
①コンソールとメロディチャイム裏面を「ダイヤル」にする。

②エリア・グループの数字を同じに合わせる。

①コンソールとメロディチャイム裏面を「ペアリング」にする。

②メロディチャイム側面を「使用」にして登録ボタンを長押しする。

③ランプ点滅中に、センサーを作動させる。



* 製品出荷時には、ダイヤル設定で出荷されています。

■動作確認方法

①設置したベッドセンサー K に寝て起き上がり、センサーを作動させてください。

②メロディチャイムが鳴ることを確認してください。

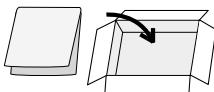
メンテナンスと注意事項

清掃方法



布（中性洗剤を含ませた布でも可）で清拭してください。

保管方法



所定の位置で折りたたんで箱に入れ、箱は立てずに寝かせて保管してください。

（納品時の箱は保管箱としてお使い頂けます。）

* 保管の際にセンサーの上に重い物を乗せないでください。

禁止

故障や誤動作の原因になりますので、禁止事項にご注意ください。

高温禁止



耐温は40度です。高温になる温熱器具を近づけないでください。

衝撃禁止



センサーを傷つけたり、衝撃を与えないでください。

重い物禁止



センサーの上に、重い物を乗せないでください。

水没禁止



センサーは防水仕様ではありません。
水に浸けることは厳禁です。
失禁や飲み物をこぼして濡れた場合は、速やかに拭き取ってください。

所定位置以外での折曲禁止



折り曲げ線以外で、折り曲げないでください。また、折り曲げ線で一部を折り曲げたまま使用しないでください。必ずしっかり伸ばして設置してください。

故障かな？と思ったら

〈センサーが鳴らない… 別の部屋の受信器が鳴る…〉

設置状況の確認をしてください

確認項目

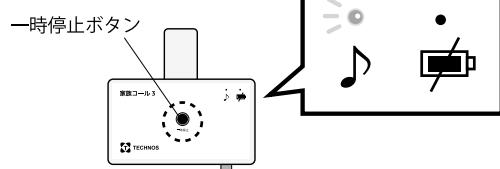
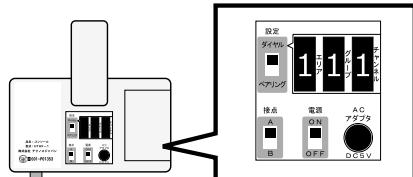
- センサーのプラグはコンソールのジャックにしっかりと差し込まれているか
- コンソール裏面の接点スイッチは「A」になっているか
- メロディチャイムにACアダプタがつないであるか
- コンソールとメロディチャイムの電源は入っているか
- コンソールとメロディチャイムの距離は遠すぎないか



〈それでも鳴らない…〉

確認項目

- コンソールの♪ランプが点滅していないか
→[点滅している場合]
コンソールの「一時停止機能」が働いています。
* 一時停止を解除するには電源スイッチを入れ直してください。
- 設定が「ダイヤル設定・ペアリング設定」かを確認してください。
どちらか一方に設定をすることで正しく報知します。（表面・取扱説明書参照）



5分間作動停止後、自動復旧します。

* 作動停止中は♪ランプが点滅（青）。

* すぐ解除したい時は電源を一旦 OFF に。

〈メロディチャイムの画面のランプが点灯する…〉

[センサー作動時以外の点灯]

- メロディチャイムの内部電池消耗をお知らせしています。
必ずACアダプタをつないでご使用ください。
* メロディチャイムの内部電池は停電時などの一時的な使用の為に内蔵しています。

[センサー作動時の点灯（メロディチャイムのチャンネルランプも点灯）]

- コンソールの電池消耗をお知らせしています。
コンソールの電池を交換してください。
* 電池残量がなくなった電池を入れたままにすると液漏れを起こし、故障の原因となりますので、
電池を交換するか、電池を抜いてください。

